国土交通省　中部地方整備局
富士砂防事務所
Mount Fuji Sabo Office, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和３年１月２９日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

令和２年度　第３次補正予算に関する事業概要について

～防災・減災、国土強靱化を強力に推進し、安全・安心を確保～

■火山砂防事業
①生命と財産を守るため、気候変動を見据えた「流域治水」等の推進
・富士山を源流とする潤井川流域の各渓流において、「流域治水」の一環として火山噴火や降雨に起因する土砂災害を防ぐための砂防堰堤・遊砂地の整備を推進します。（4 箇所）
・富士山の火山噴火に起因する土砂災害に備えて緊急減災対策等の準備を推進します。（2 箇所）

■地すべり対策事業
②災害発生時も、「いのち」と「くらし」を守り、「ものづくり中部」の経済活動を支える！！
・由比地すべり対策の整備に必要となる調査・設計を行います。

■富士砂防事務所事業費
令和２年度当初　：６，３５７百万円
令和２年度補正　：２，３７０百万円
事業費計　　：８，７２７百万円（当初比：１．３７倍）

１．　添付資料：令和２年度　第３次補正予算に関する富士砂防事務所の事業概要

なお、富士砂防事務所ＨＰにも掲載されております。
http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/index.html

２．　配 布 先：静岡市記者会、富士宮記者会、富士記者クラブ、
山梨県政記者クラブ、富士吉田市記者クラブ

３．　問合せ先：国土交通省　中部地方整備局　富士砂防事務所
副　所　長　西原　均
工務課長　杉澤　文仁
地すべり対策課長　村野　幸宏
（ＴＥＬ）０５４４－２７－５２２１（代表）

令和2年度 第3次補正予算における
富士砂防事務所 事業概要

富士山火山砂防事業
生命と財産を守るため、気候変動を見据えた「流域治水」等の推進

■富士山麓における土砂災害を防ぐための砂防事業

富士山を源流とする各渓流において、「流域治水」の一環として、火山噴火に起因する土砂災害、降雨に起因する土石流対策のために砂防施設整備を推進します。

■足取川支川大久保沢で砂防堰堤工群の整備を行います。（P3①）
■猪の窪川支川栗ノ木沢において既設砂防堰堤の改築を行います。（P3②）
■大沢川遊砂地において強靭化プロジェクトを進めます。（P3③）
■凡夫川支川砂沢で遊砂地工を整備を行います（P3④）

■緊急減災対策の推進

富士山の火山噴火に起因する土砂災害対策に備えて緊急減災対策の準備を推進します。

■富士山南麓で緊急減災対策工（除石工・ブロック製作工）を行います。（P3⑤）
■富士山北麓で緊急減災対策工（除石工）を行います。（P4⑥）

地　区　名	年　度	事業費(百万円)	内訳
富士山南西・北麓地区（富士山砂防事業）	令和２年度	4,151	静岡県分 3,641 山梨県分 510
	令和2年度 第３次補正予算	2,120	静岡県分 2060 山梨県分 60

由比地すべり対策事業
災害発生時も、「いのち」と「くらし」を守り、「ものづくり中部」の経済活動を支える！！

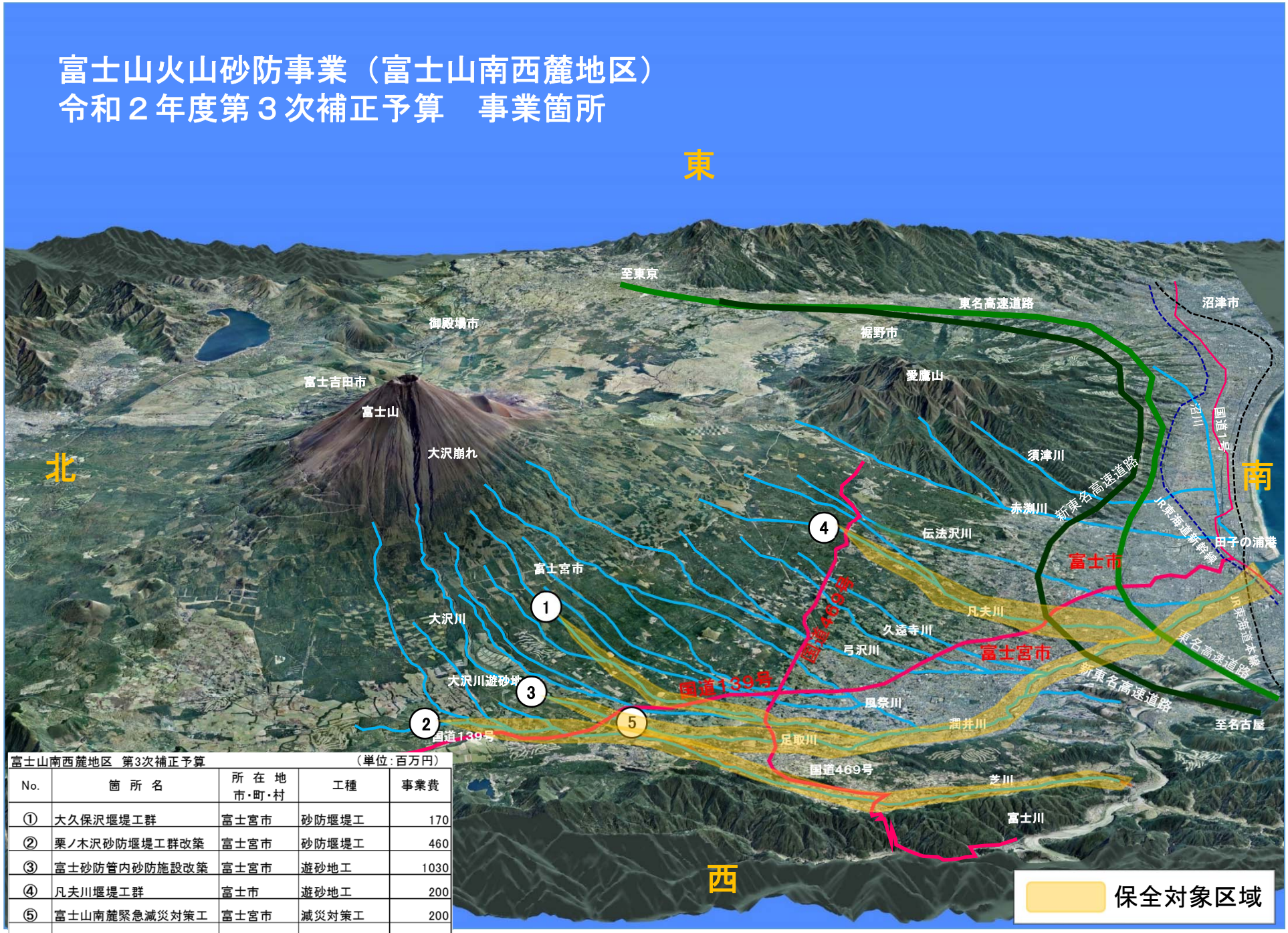
■豪雨や地震による大規模地すべり災害の発生を未然に防ぐための地すべり対策事業

由比地区では豪雨や東海地震等による大規模地すべり災害の発生を未然に防ぐため、深礎杭の地すべり対策構造物の持つ抵抗力を利用して地すべり運動を停止させる抑止工等の整備を推進します。

■深礎杭の工事に必要な詳細な設計等を行います。

地　区　名	年　度	事業費(百万円)
由比地区（地すべり対策事業）	令和２年度	2,206
	令和2年度 第３次補正予算	250

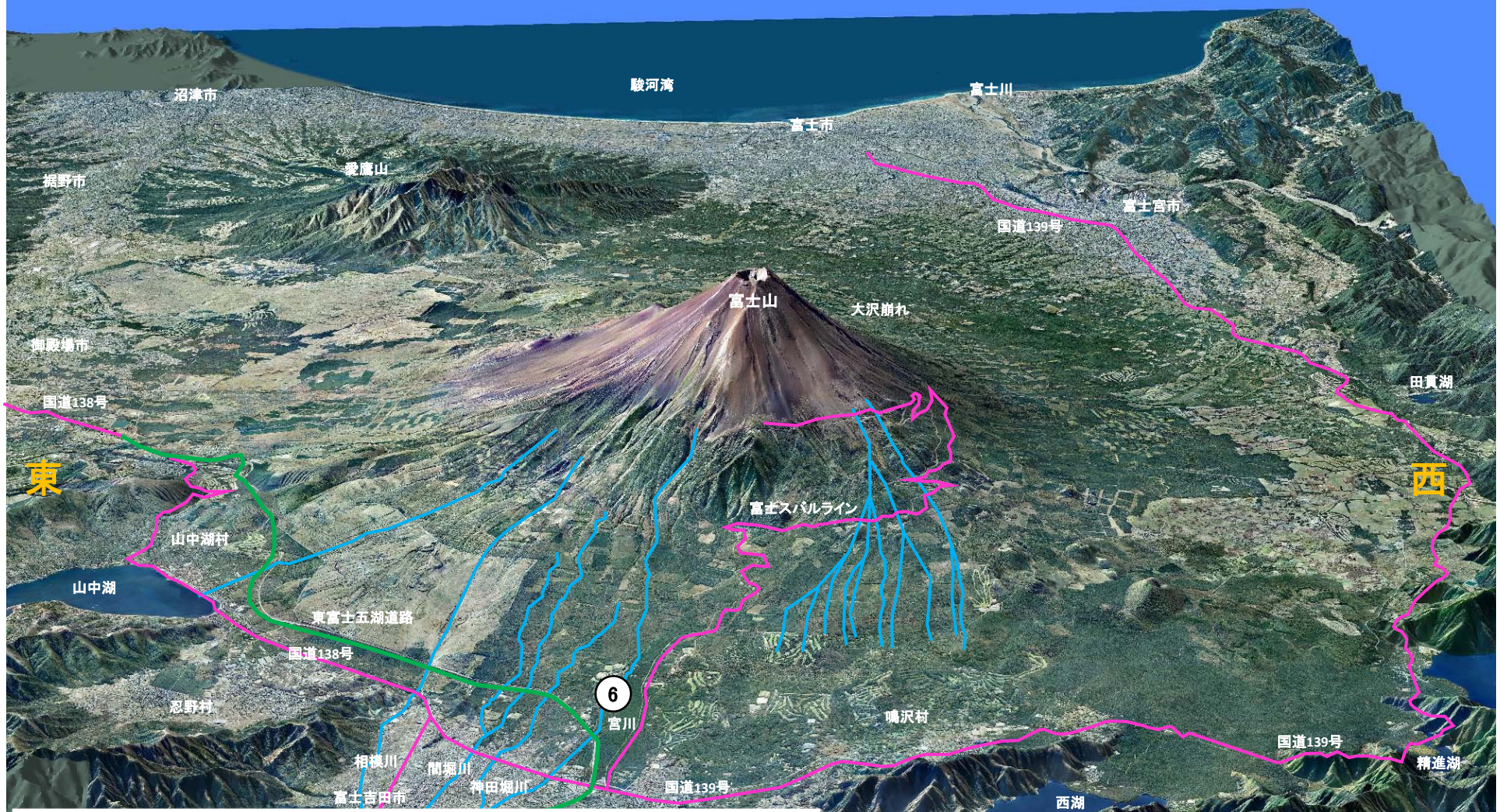
富士山火山砂防事業（富士山南西麓地区）
令和２年度第３次補正予算　事業箇所



富士山南西麓地区　第3次補正予算　（単位：百万円）

No.	箇　所　名	所　在　地 市・町・村	工種	事業費
①	大久保沢堰堤工群	富士宮市	砂防堰堤工	170
②	栗ノ木沢砂防堰堤工群改築	富士宮市	砂防堰堤工	460
③	富士砂防管内砂防施設改築	富士宮市	遊砂地工	1030
④	凡夫川堰堤工群	富士市	遊砂地工	200
⑤	富士山南麓緊急減災対策工	富士宮市	減災対策工	200
	小計			2060

富士山火山砂防事業（富士山北麓地区）
令和２年度第３次補正予算　事業箇所



富士山北麓地区　第3次補正予算　（単位：百万円）

No.	箇　所　名	所　在　地 市・町・村	工種	事業費
⑥	富士山北麓緊急減災対策工	富士河口湖町	減災対策工	60
	小計			60

防災インフラの管理の効率化・高度化と予防保全（老朽化対策）

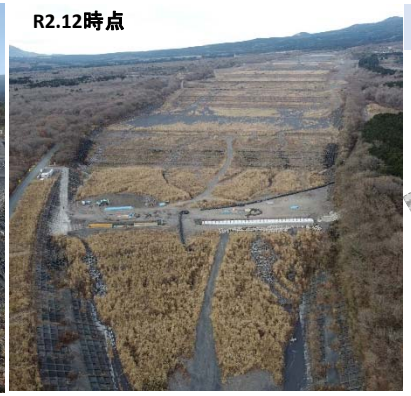
国土交通省
富士砂防事務所

◆大沢川遊砂地は、多量の土砂流出が続く大沢崩れから、地域を守る重要な砂防施設である。
◆大沢川遊砂地の機能を維持・向上させる「大沢川遊砂地強靭化プロジェクト」を推進する。
①施設内に堆積した土砂の撤去。（継続）
②建設から数十年が経過し、老朽化した一部施設の補修。（継続）
・主な保全対象：大沢川流域（富士・富士宮市街地）、国道139号、国道469号

①渓岸工区間

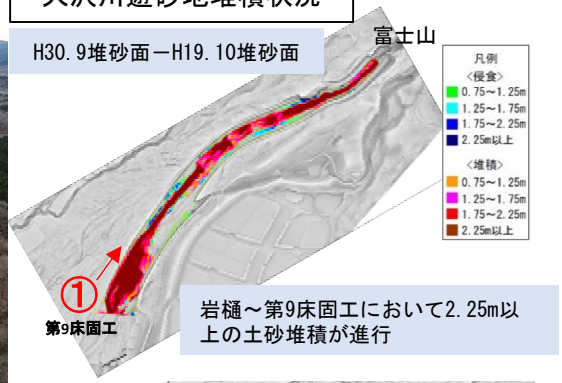
緊急3か年予算(H30～R2)にて渓岸工部分の堆積土砂を撤去

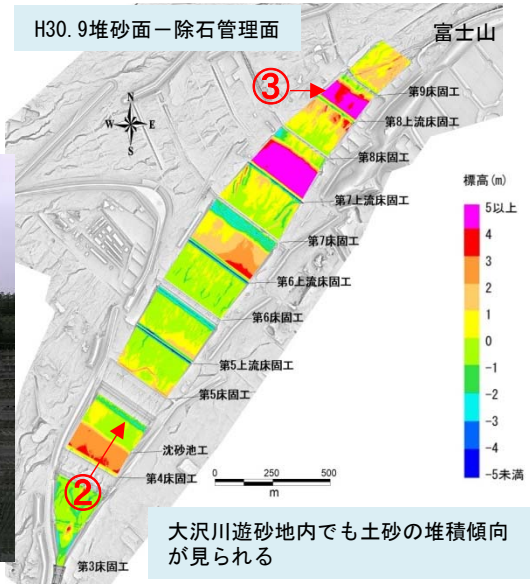
②遊砂地区間



遊砂地工の堆積状況

大沢川遊砂地堆積状況





至：富士宮市街地

③床固工付近

・流出土砂により損傷・流出したブロック

今年度工事による一部補修

気候変動を見据えた「流域治水」等の推進（遊砂地工・流木対策）

国土交通省
富士砂防事務所

◆令和2年7月豪雨による甚大な被害の発生など、気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害に対する安全度の向上を図るため、水災害対策「流域治水」を推進する。

◆火山噴火等による土砂災害に対して、遊砂地工や流木対策工の整備を推進することにより、下流地域の安全度の向上を図る。

・主な保全対象：足取川流域（富士宮市街地）、凡夫川流域（富士市街地）
猪の窪川流域（富士宮市街地）国道469号、国道139号

遊砂地工の整備

砂沢上流遊砂地（富士市大淵地先）

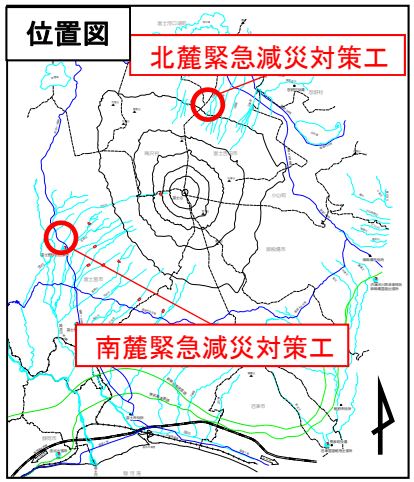
流木対策工の整備

例）栗ノ木沢第6砂防堰堤（富士宮市人穴地先）

火山噴火に起因する土砂災害対策（緊急減災対策工）

国土交通省
富士砂防事務所

◆火山噴火に起因する土砂災害対策では、砂防堰堤や沈砂地等の整備を平常時から計画的に行うとともに、緊急時に備蓄ブロックを用いた堰堤を緊急整備する等の対応により、被害の軽減を図る。
◆緊急対策の迅速な実施のため、緊急減災対策用ブロックの備蓄ならびに既設堰堤に堆積した土砂の撤去を行う。



ブロック備蓄ヤードの整備状況
（富士宮市上井出）

ブロック備蓄ヤードの整備状況
（南都留郡富士河口湖町船津）

堆積土砂の撤去状況（富士吉田市上吉田（宮川））

ブロック堰堤緊急施工事例　（御嶽山　ブロック堰堤）